

〈レディブティック2026年2月号掲載〉

便利なポケット付き ミシンマット

使用するミシン・アタッチメント

職業用直線ミシン

家庭用ミシンでも可(生地に合わせて設定)

ミシンの設定は生地によって異なりますので、必ず試縫いをして調整して下さい。

【出来上がりサイズ】

タテ32cm×ヨコ62cm(ポケット含まず)

材料

11号帆布	112cm幅	70cm
リバティ帆布	60cm幅	40cm
滑り止め付き生地	70cm幅	40cm

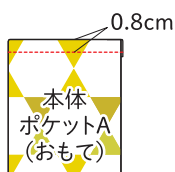
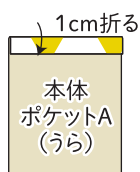
プラスナップ(9mm)※専用打ち具を用意	4組
マグネットシート(強力)	4.5×6cm

※縫い始めと縫い終わりは返し縫いしましょう

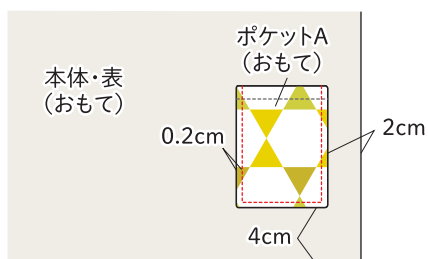
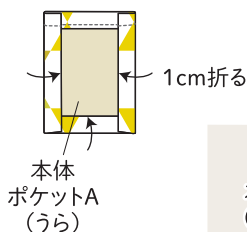
※滑り止め生地にアイロンをかける場合は低温(120度まで)にしましょう。

1. 本体をつくる

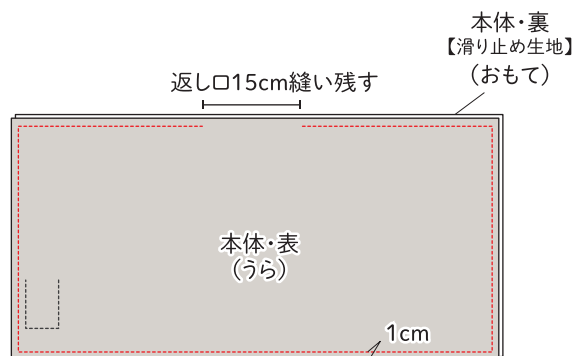
- ① ポケットAのポケット口を縫い代分1cm裏面に折ります。
ポケット口を縫います。



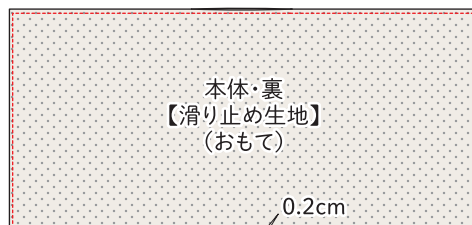
- ② 残りの3辺の縫い代も裏面に折ります。
本体のポケット位置に縫い付けます。



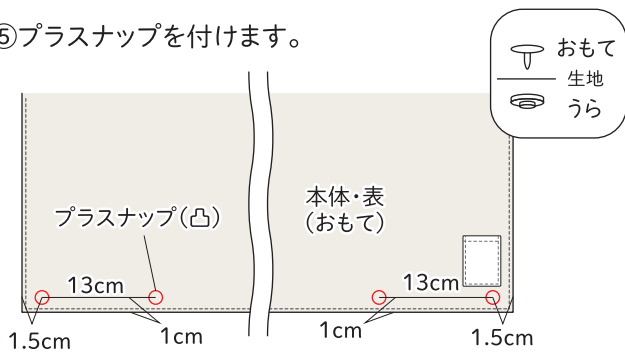
- ③ 本体2枚を中表に合わせます。マットの奥に返し口を
15cm開けて4辺を縫い合わせます。



- ④ 返し口から表に返して角を整えます。
裏【滑り止め生地】を上にして端から0.2cmにステッチを
かけます。



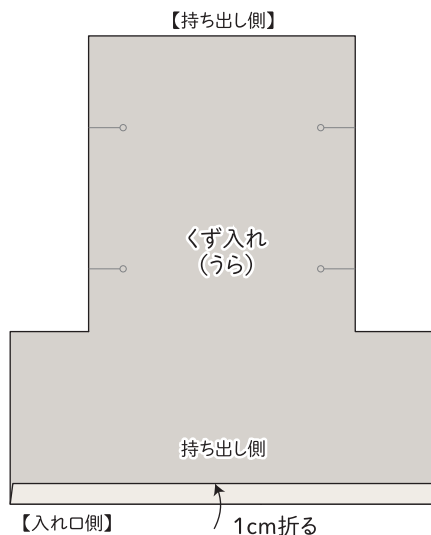
⑤プラスナップを付けます。



2.くず入れをつくる

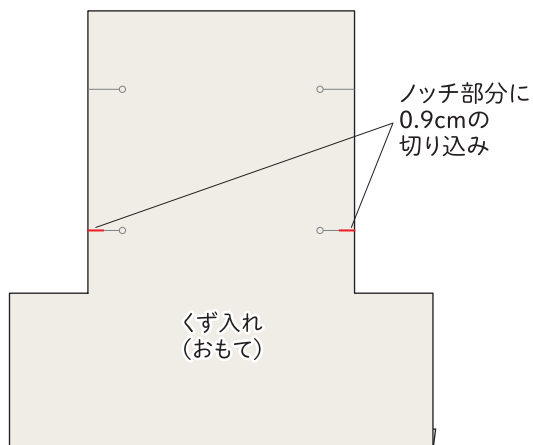
※①～⑤まで2枚とも同じように縫います

①入れ口側の縫い代分1cmを裏面に折ります。

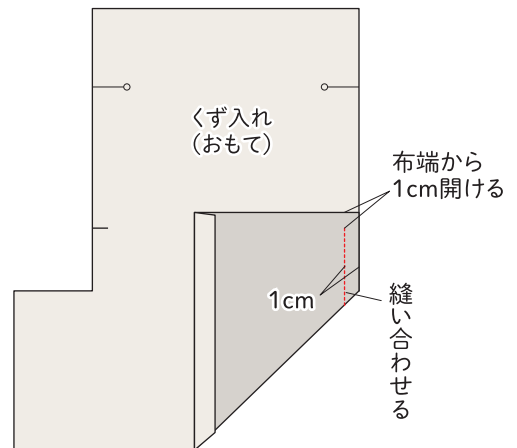


②下図のノッチ部分に9mmの切込みを入れます。

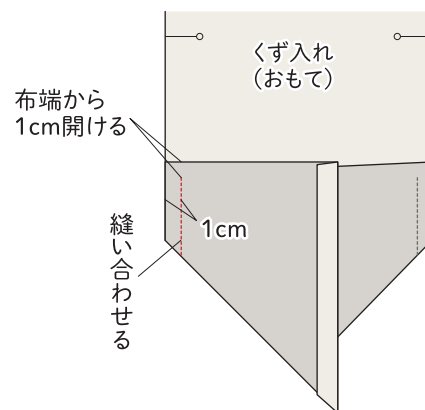
※切りすぎないように注意



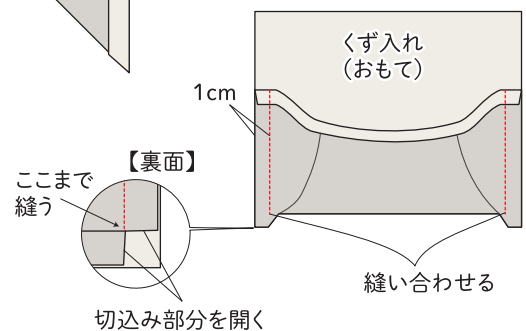
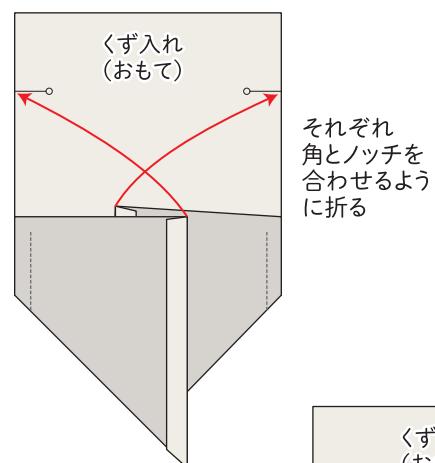
③下図のように折り、縫い合わせます。



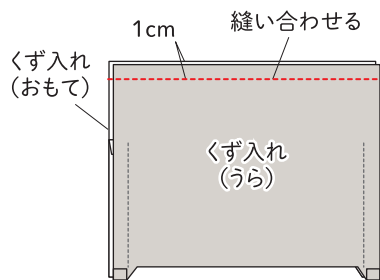
④反対側も同じように折り、縫い合わせます。



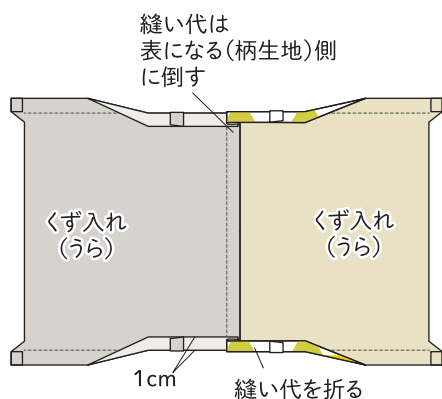
⑤下図のように角とノッチを合わせるように折り、両端を縫い合わせます。



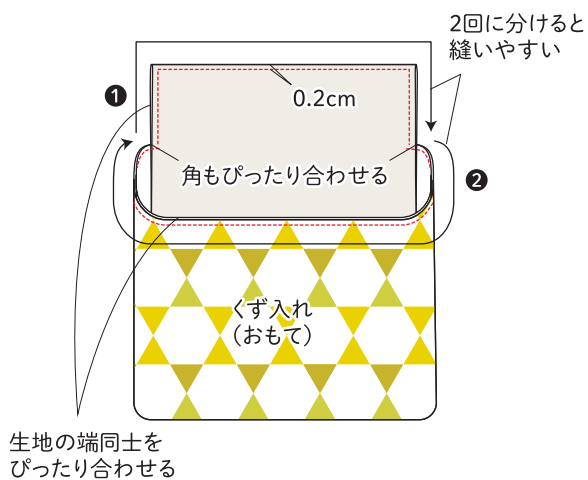
⑥2つのくず入れを中表に合わせて縫い合わせます。



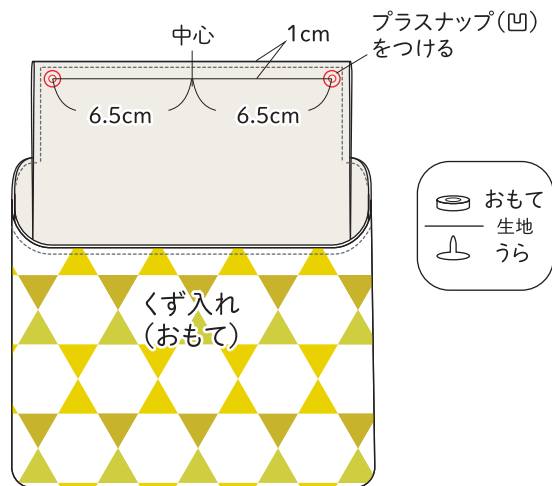
⑦⑥の縫い代を表(柄生地)側に倒します。
脇の縫い代を折ります。



⑧表になる柄生地だけ表に返して、もう片方を中に入れます。(外表に合わせる)
持ち出しの端と入れ口の端をそれぞれぴったり合わせます。①持ち出し部分と②入れ口部分を分けて縫い合わせます。

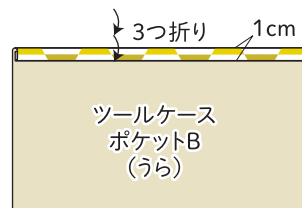
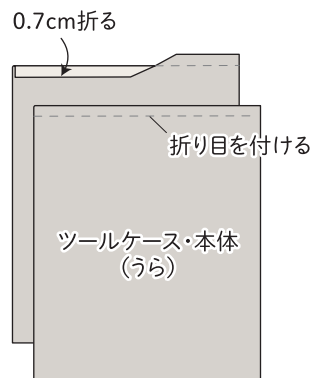


⑨持ち出し部分にプラスナップを付けます。

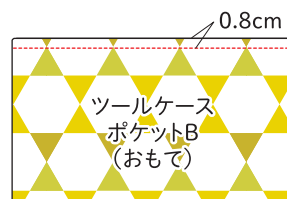


6. ツールケースをつくる

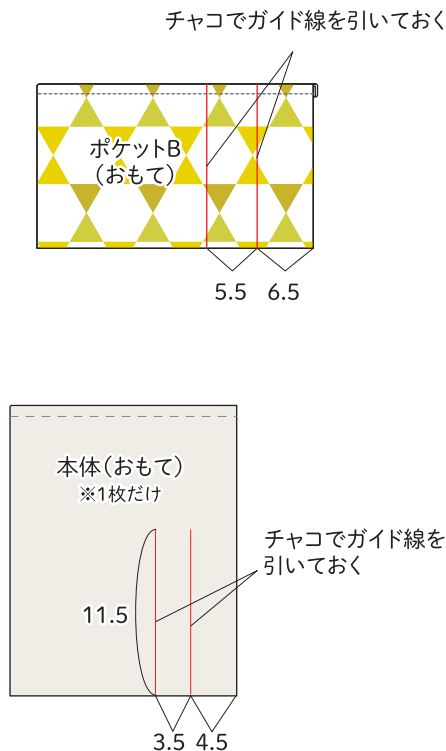
①本体の上辺を縫い代分0.7cmで折り目を付けます。
ポケットBのポケット口を1cm→1cmの3つ折りにします。



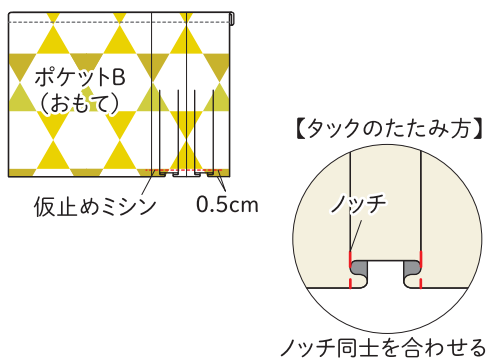
②ポケット口をミシンで縫います。



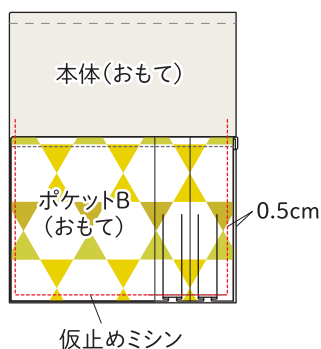
- ③ ポケットBと本体にチャコでガイド線を引きます。
※後で消せるチャコを使用



- ④ ポケットBの底のタックを畳んで仮止めミシンをかけます。



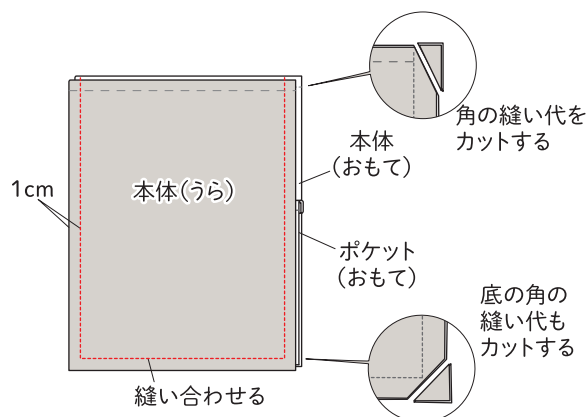
- ⑤ ガイド線のある本体にポケットをのせて、底と脇を合わせて仮止めミシンをかけます。



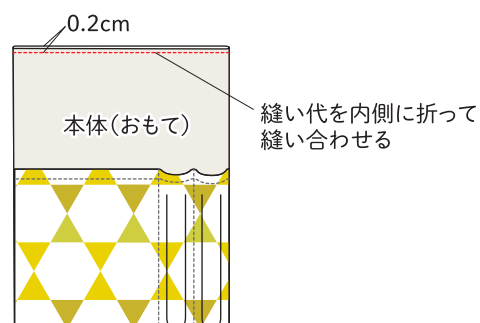
- ⑥ ガイド線を合わせてポケットの仕切りを縫います。



- ⑦ もう1枚の本体と中表に合わせて、両脇と底を縫い合わせます。角の縫い代をカットしてから、表に返して形を整えます。



- ⑧ 持ち出し部分の縫い代を内側に折って、縫い合わせます。



- ⑨ 持ち出し部分にプラスナップを付けます。

